



社員のウォーキングイベントや福利厚生にクアオルト®健康ウォーキングを導入

自治体からの働きかけにより、健康経営の一環として、社員のウォーキングイベントにクアオルト®健康ウォーキングを導入。さらに、社員のプライベートでの運動、リフレッシュ機会の提供を目的に、クアオルト®健康ウォーキング等が体験できるアクティビティチケット制度も導入。

導入の経緯と決め手

2019年から健康経営を始め、社員に長く働いてもらうことを意識。2020年、自社のアプリウォーキングイベントの取組が地元紙に掲載されたことをきっかけに、上山市から集合イベントとしてクアオルト®健康ウォーキングの提案を受けた。満足度の高いガイドの存在、運動以外のプログラム（食事や温泉など）も充実していること、何でも相談できることの、3点が決め手になった。

取組内容とその効果

<実施地域：森林サービス産業推進地域「山形県上山市地域」>

健康経営の一環として、クアオルト®健康ウォーキング等の運動プログラムと食事・入浴を組み合わせた社員向けイベントを開催。口コミで参加人数が増え、現在では全社員の18%が参加。2022年度からは、社員のプライベートでの運動、リフレッシュ機会の提供を目的に、家族利用できる「アクティビティチケット」を導入。社員の健康意識の向上や社員間のコミュニケーションの活性化、それによる社員のエンゲージメントの向上につながっている。



従業員の声

- ・自然を楽しみながら良い運動になった。
- ・たくさんの人ときれいな自然の中を歩くことで、こんなに楽しいと気づいた。
- ・仕事以外の部分でコミュニケーションをとることができた。

役割分担と参加促進に向けた取組

人材開発室の担当者が、受入地域の自治体に相談しつつ、毎回趣向を変えたイベントとなるようにプログラムを作成。

あえて強制参加にはせず、まず関心の高い者に参加してもらい、口コミで参加人数を増やしていった。

■プログラム構築：

企業が、受入地域の自治体に相談しつつ、プログラムを作成

■導入形態：

休日自由参加の行事（日帰り）
体験チケット配布

■対象者：

全社員やその家族が対象

■費用負担：

企業が全額負担

目的

- 心と体の健康づくり
- チームビルディング・社内コミュニケーション強化
- 地域貢献・社会貢献

結果（企業の声）

- 社員同士の共通の話題ができたことで、仲間意識の醸成につながった
- 人材採用の面で、同業他社との差別化になる